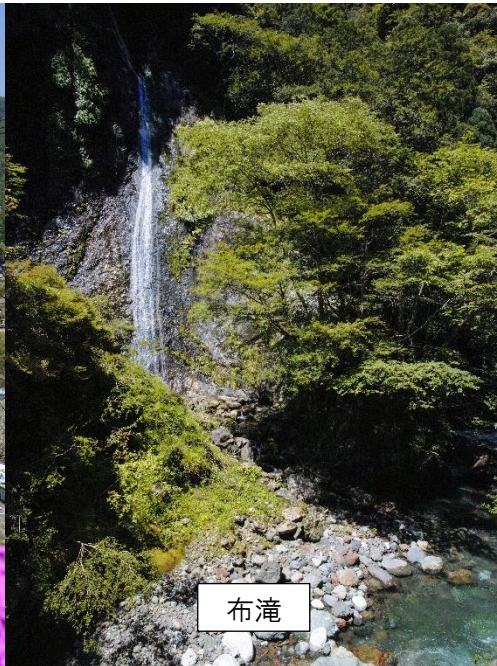


写真集「水窪は語る。」原稿完成

水窪の四季を感じる 36 枚 掲載写真の一部を紹介



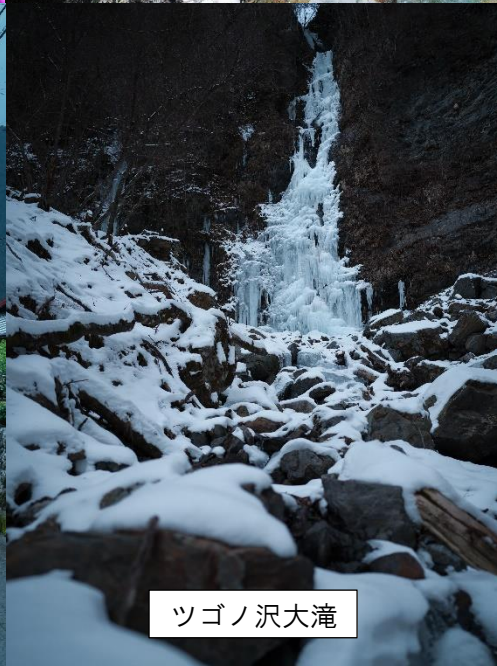
春の水窪



布滝



八幡流し



ツゴノ沢大滝

8月の発行を目指して制作を進めている写真集「水窪は語る。」の原稿が完成しました。今回は掲載した写真の一部を紹介します。

この写真集では、変化に富む水窪の四季、そしてそれぞれの季節ならではの豊かな自然や生活をテーマに写真を選びました。

春や夏の写真では、桜や新緑から感じられる自然の力強さを引き出すことに挑戦しました。秋から冬にかけては水窪の祭りや民俗行事など、地域の生活を感じられる光景に多く触れたほか、静岡県では珍しい雪に包まれた風景を撮影しようと町内各地を巡りました。

写真には撮影時の心情や写っているものについての逸話など一言コメントを添えました。

水窪の日常や名所を写したものがほとんどですが、独自の切り口やコメントで表現したこの写真集から水窪の魅力を少しでも新鮮に感じてもらえればと思います。

水窪 月報

ふおとりっぷ No.35

令和5年6月13日(火)

浜松山里いきいき応援隊



山崎 洸一

電話: 080-2650-6561

メール: koh1999c@gmail.com



写真集「水窪は語る。」発行スケジュール
7月初旬をめどに新聞の折込チラシなどを通じて予約受付の方法などを公表します。新聞を購読されていない方は7月1日以降、隊員通信に記載している山崎の連絡先(電話・メール)までお問い合わせください。

丸盆岳登山 かもしか平撮影に挑む

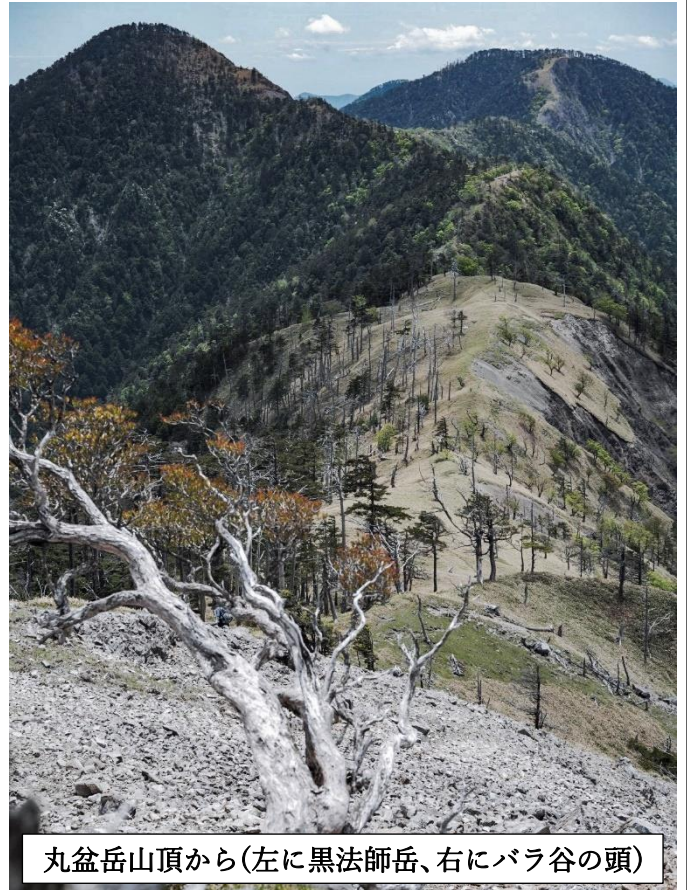
標高 2,000 メートルの先にある絶景 写真集にも掲載予定



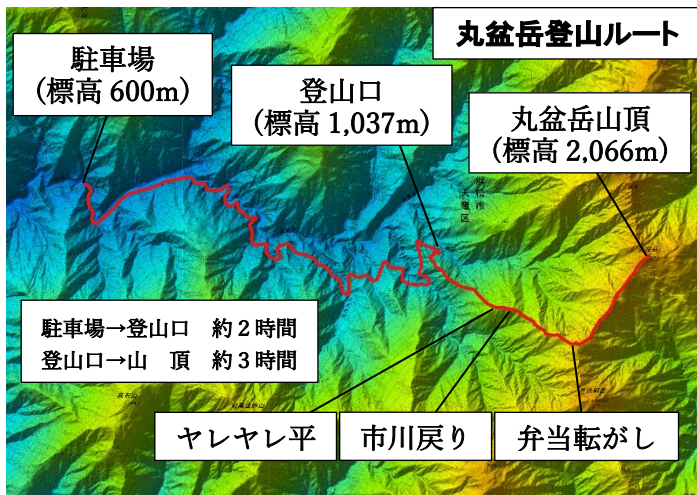
かもしか平



登山道に設置された目印



丸盆岳山頂から(左に黒法師岳、右にバラ谷の頭)



5月28日、丸盆岳に登りました。水窪の山に登る人たちが口を揃えて良い山だと語る丸盆岳。なかでも山頂付近で周りに遮るものが無い「かもしか平」の絶景を写真に収めてみたいという思いから丸盆岳の頂を目指しました。2000メートル峰へは初挑戦。2時間の林道歩きのこと、登山道に入ってから急峻な箇所で一苦労することもありました。しかし、ヤレヤレ平、市川戻り、弁当転がしなど、山に生きる会の皆

さんが整備してくださっている目印のおかげで、少しずつ休憩を挟みながら丸盆岳へ通じる尾根道まで出ることが出来ました。黒法師岳方面との分岐を左へ進むと、丸盆岳の山頂とその下に広がる「かもしか平」が姿を現しました。道のすぐ横は切り立つ崖で、その向こうには水窪での生活で見慣れた山々が遥か下の方に見えました。いつも見上げていた山を見おろすとどこか不思議な感覚で、また目の前に見える「かもしか平」の広大な笹原も現実とは思えない迫力がありました。山頂からは丸盆岳と同じく2000メートル峰の黒法師岳やバラ谷の頭、東の方には雪を被った富士山を眺めることが出来ました。西側から富士山を眺めるのは新鮮で、少し形が違うからか別の山なようにも見えました。今回丸盆岳で撮影した「かもしか平」は写真集「水窪は語る。」にも掲載しています。完成品を手にとったときにはぜひ見てみてください。